

2019年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月2日

上場会社名 キャリアバンク株式会社
 コード番号 4834 URL <http://www.career-bank.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 良雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理財務部長兼経営管理部長 (氏名) 橋本 正太

上場取引所 札

TEL 011-251-3373

四半期報告書提出予定日 2018年10月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第1四半期の連結業績(2018年6月1日～2018年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-----|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年5月期第1四半期 | 1,404 | 4.5 | 14 | | 10 | | 12 | |
| 2018年5月期第1四半期 | 1,470 | 1.4 | 37 | | 36 | | 29 | |

(注) 包括利益 2019年5月期第1四半期 12百万円 (%) 2018年5月期第1四半期 17百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年5月期第1四半期 | 12.46 | |
| 2018年5月期第1四半期 | 29.95 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年5月期第1四半期 | 2,383 | 1,041 | 31.1 | 747.70 |
| 2018年5月期 | 2,338 | 1,072 | 32.9 | 773.80 |

(参考) 自己資本 2019年5月期第1四半期 742百万円 2018年5月期 768百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年5月期 | | | | 13.00 | 13.00 |
| 2019年5月期 | | | | | |
| 2019年5月期(予想) | | | | 13.00 | 13.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|---|------|---|-----------------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 6,083 | 2.5 | 110 | | 107 | | 43 | | 43.88 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|-----------|----------|-----------|
| 2019年5月期1Q | 993,000 株 | 2018年5月期 | 993,000 株 |
|------------|-----------|----------|-----------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|---|----------|---|
| 2019年5月期1Q | 株 | 2018年5月期 | 株 |
|------------|---|----------|---|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|-----------|------------|-----------|
| 2019年5月期1Q | 993,000 株 | 2018年5月期1Q | 993,000 株 |
|------------|-----------|------------|-----------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 4 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 4 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 6 |
| (追加情報) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、雇用を取り巻く状況は有効求人倍率が高い値で推移し、依然として人手不足感が続いております。また、若年者の離職率も今なお高く、雇用の流動性も上昇傾向にあります。その中で当社グループは企業と人材を繋ぐ役割と機能を果たすため、質の高い人材サービスの提供を通じて双方が求めるニーズに応えてまいりました。

人材派遣関連事業においては、短期単発案件が減少したため売上高は減少しましたが、派遣単価の改善への努力の結果セグメント利益は前年同期を上回りました。人材派遣関連事業（関東）においては、入札案件の見送りにより売上高は前年を下回りましたが、売上総利益率の改善に努めた結果セグメント損失を縮小できました。人材紹介事業においては、紹介事業及び海外からのインターンシップ受入サポート事業等が伸びたことにより売上高は前年同期を上回りましたが、人材募集のための広告費等の伸びによりセグメント利益は前年同期を下回りました。再就職支援事業においては、実績を活かした他地域への進出が奏功し、受託した事業が増加したため、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回ることとなりました。ペイロール事業においては、新規顧客の受注が順調に進み、前年同期を上回りました。また、作業の標準化や子会社への業務委託等により効率化を進めた結果、売上総利益率を大きく改善できました。その他事業は、既存の事業が伸び悩みを見せるものの前期から開始した日本語学校運営事業が軌道に乗り始めたことが貢献し、売上高は前年同期を若干下回りましたがセグメント利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1,404,383千円（前年同期比4.5%減）、営業損失14,529千円（前年同期は営業損失37,573千円）、経常損失10,341千円（前年同期は経常損失36,019千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失12,367千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失29,742千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ45,339千円増加し、2,383,791千円となりました。これは主に売掛金の増加によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ77,113千円増加し、1,342,600千円となりました。これは主に買掛金及び未払消費税等の増加によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ31,774千円減少し、1,041,191円となりました。これは主に利益剰余金の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年7月10日に発表いたしました2019年5月期(2018年6月1日から2019年5月31日)の業績予想に関しまして、変更はありません。

また、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2018年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,165,652 | 984,198 |
| 売掛金 | 589,480 | 826,488 |
| その他 | 51,747 | 41,890 |
| 貸倒引当金 | △2,573 | △3,119 |
| 流動資産合計 | 1,804,308 | 1,849,457 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 142,655 | 141,387 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 54,485 | 52,882 |
| その他 | 84,785 | 78,256 |
| 無形固定資産合計 | 139,270 | 131,139 |
| 投資その他の資産 | 252,217 | 261,806 |
| 固定資産合計 | 534,143 | 534,333 |
| 資産合計 | 2,338,451 | 2,383,791 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 44,535 | 90,773 |
| 短期借入金 | 500,000 | 500,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 100,000 | 100,000 |
| 未払費用 | 287,491 | 284,023 |
| 未払法人税等 | 18,488 | 12,325 |
| 未払消費税等 | 74,460 | 87,933 |
| その他 | 72,564 | 97,403 |
| 流動負債合計 | 1,097,540 | 1,172,459 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 150,000 | 150,000 |
| その他 | 17,945 | 20,140 |
| 固定負債合計 | 167,945 | 170,140 |
| 負債合計 | 1,265,486 | 1,342,600 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 256,240 | 256,240 |
| 資本剰余金 | 63,785 | 63,785 |
| 利益剰余金 | 378,125 | 352,848 |
| 株主資本合計 | 698,151 | 672,874 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 70,350 | 70,459 |
| 為替換算調整勘定 | △114 | △867 |
| その他の包括利益累計額合計 | 70,235 | 69,592 |
| 新株予約権 | 2,345 | 2,345 |
| 非支配株主持分 | 302,232 | 296,378 |
| 純資産合計 | 1,072,965 | 1,041,191 |
| 負債純資産合計 | 2,338,451 | 2,383,791 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自 2017年6月1日 至 2017年8月31日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 2018年6月1日 至 2018年8月31日） |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 1,470,429 | 1,404,383 |
| 売上原価 | 1,214,708 | 1,118,732 |
| 売上総利益 | 255,720 | 285,650 |
| 販売費及び一般管理費 | 293,294 | 300,180 |
| 営業損失（△） | △37,573 | △14,529 |
| 営業外収益 | | |
| 受取賃貸料 | 2,167 | 2,195 |
| 受取配当金 | 2,094 | 2,167 |
| 助成金収入 | 83 | 2,833 |
| その他 | 1,273 | 531 |
| 営業外収益合計 | 5,617 | 7,728 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 911 | 922 |
| 賃貸費用 | 2,167 | 2,080 |
| その他 | 985 | 537 |
| 営業外費用合計 | 4,063 | 3,540 |
| 経常損失（△） | △36,019 | △10,341 |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △36,019 | △10,341 |
| 法人税等 | △2,365 | 1,302 |
| 四半期純損失（△） | △33,654 | △11,643 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△） | △3,912 | 724 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失（△） | △29,742 | △12,367 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △33,654 | △11,643 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 15,303 | 802 |
| 為替換算調整勘定 | 739 | △1,471 |
| その他の包括利益合計 | 16,042 | △668 |
| 四半期包括利益 | △17,611 | △12,312 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △17,343 | △11,563 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △267 | △749 |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。